

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 西川町地域資源イノベーション推進協議会

上位関連計画にみる地域の将来

- 地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
- 第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
- 現在の人口：4,732人（2023年）、将来推計：4,085人（2030年）
- 地域の総合計画に示された将来目標 ・人口 目標：4,165人（2030年）
 - ・木材生産量 現状：20,000 → 目標：24,000（2030年）
 - ・バイオマス熱の利用施設数 現状：0 → 目標：2（2030年）
 - ・町内企業・創業者数：2事業者（2022年） → 目標40事業者（2030年）
 - ・町外者と町民との共創により生み出された事業：現状 0 → 目標 8事業（2030年）
 - ・水や雪などの自然資源を活かした新たな商品、事業：現状2点（2022年） → 目標40点
 - ・農業算出額：現状 630,000千円/年 → 目標670,000千円/年
 - ・交流人口：現状 502,000人/年 → 目標 1,000,000人/年、イベント開催者：19,300人/年 → 目標 30,000人/年
 - ・公式LINE等SNS登録者：現状 5,649人/年 → 目標50,000人/年（2030年）

②具体的な取組 ※誰が何をするのか、主なものをお書きください。

- ・地域森林の経営管理、素材生産、森林の多面的機能の発揮（自伐林家、西村山地方森林組合、町、地区、森林所有者）
- ・町の取り組みの発信（町、町民、西川ファン）
- ・雪の活用の検討（ツキノワ合同会社、金子農園、地区、町）
- ・地域資源等を活かした産業雇用の創出（町、西川町総合開発株）
- ・町の取り組みの発信（町、町民、西川ファン）

①ありたい未来
※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください

→ ●3つの事業により
地域資源の有効活用や廃棄資源の再利用など自然豊かで環境に優しい地域としての取り組みに加え、地域の特徴である豪雪を活かした事業などで町外や都心部、海外の西川ファンを多く獲得し、積極的なSNS発信、交流などを通じて継続した関係を築き、特産品の消費や実際の西川町での体験により、地域に”つながり”と”資金”と”活力”の循環ができています。

●さらに先へ
3つ事業を含め、町民や民間が主体となり、町内外、民官が連携し様々な事業の実現を積み重ねたことがベースとなり、地域に自らが主体となって動きやすい環境や土壌、雰囲気が出来上がり、そうした人と町外西川ファンとが交流連携することで、さらなるイノベーションが起き、自ら地域課題を解決することが出来ている。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2023年度末)	実績値 (2023年度末)	単位
環境	地域の取組み	薪ストーブ等設置数（補助活用）	4	7		台
	地域の取組み	廃プラ回収量	0	300		kg
経済	財源が充実する	町内木質バイオマス材生産量	20,000	20,500		
社会	行動が変わる	各地区との対話会	7	7		回
	関係人口	西川ファン数_オープンチャット参加者数	1,750	1,800		人
	関係人口	廃プラ回収協力企業数	7	7		団体

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2030年度末)	目標年度 (2030-2050年度末)	目標値	単位
環境	地域の取組み	バイオマス熱利用施設数	0	0	2030	2	施設
	地域の取組み	民生部門電力脱炭素地区数	0	0	2030	6	地区
経済	地域産業が稼ぐ	木材生産量	20,000	20,500	2030	24,000	m ³
	地域産業が稼ぐ	農業算出学	630,000	635,000	2300	670,000	
	地域外から稼ぐ	雪等自然を生かした新商品	2	5	2030	40	
社会	関係人口	公式SNS登録者数	5,649	10,000		50,000	
	関係人口	交流人口	502,000	600,000		1,000,000	

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

各事業が実現することで最終的にイノベーションが起きる地域に繋がるため、木質バイオマス事業においては薪ストーブ等の普及による将来の地域資源の供給先を確保するとともに、林業事業者の体制強化を徐々に取り組んでいく。廃プラ事業は、回収の取組みが途切れないよう現段階から回収していくとともに新たな協力先を確保していく。

そのほか、各地区や西川ファンとの対話や情報発信を継続することで、関係人口を拡大し多様なイノベーションが起きる関係を築いていく。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください